

# みぞくちミニ新聞

発行元  
みぞくち

購読無料  
毎月発行

## 適量のペーパーは難しい？！

トイレが済んだら手を洗う、ハンカチで拭く。食事の前には手を洗う、タオルで拭く。コロナが流行る前から、当たり前に行っている。所長も含めて皆さんも手をふくのはタオルかハンカチでしょう。でも、みぞくちではちよつと違う。手をふくのは紙。ペーパータオルというものだ。お店やコンビニのトイレにも今は設置してあるのが当たり前。みぞくちも開所当時からこのペーパータオルを使っている。タオルやハンカチほど手触りは良くないが、使いまわす必要がなく、衛生的である。使った後のごみ箱へ。

ここで一つ問題がある。このペーパータオル、大体手をふく程度なら、2枚から3枚で事足りる。ただ、人によって使用する枚数は

## 就労の作業あれ。これ

みぞくちの餅作業。昨年未から1月にかけての忙しさは例年のことではあるが、まあ忙しかった。だが、利用者の皆さん、そして職員も頑張つて乗り切ることができた。2月を迎えても餅は製造しているものの繁忙期は過ぎ、就労グループ

の利用者の皆さんも職員なく草も生えないが、人も、ようやくゆとりの表情が見られるようになった。今は所長も餅作業を手伝う必要はなくなった。それでも時々作業の様子を見に行くと、このぐらいの作業ペースがいいなあと感じる。しばらくはこのペースで餅作業は続くだろう。少し気は早い、今年の年末に向けて、今は力を蓄えておかなければならない。

一方、公園掃除はこの寒い2月にあつても、防寒具を身を包み公園へ出向いている。ちよつと落ち葉も少

なく草も生えないが、人が利用する限り、公園の掃除は必要となる。

「今日は公園掃除行くの？」 「行くよ！」 「寒いから気を付けて！」 「大丈夫、これ！」 と背中に貼るカイロを見せてくれた。

皆さん自分の仕事に責任とやる気を持って取り組む姿勢がうかがえた。

ネット折り・バリ取りの屋内作業に携わる皆さんは、いかなる時も動じることはない。安定のマイペーパーを保っている。肝が据わ

## ちよつと一息

### 皆さんが帰った後

利用者の皆さんが作業や活動を終え、16時には帰路につく。利用者の皆さんもご家族の皆さんも、その後のみぞくちは何をしているかご存じではない。今まで知られていなかった部分を明かしてみましよう。

すべての利用者の皆さ

んが帰られると、職員がそれが見えたら概ね1日することの第1は掃除。トイレ掃除、フロア掃除、洗面所掃除、洗濯等々。加えてここ数年は皆が触れる場所のアルコール消毒もする。そのあとは、職員の休憩時間もあるが、1日の皆さんの様子を記録に付ける。お一人お一人の様子になるため、そこそこの時間がかかる。そこは手分けをしてパソコンで入力する。

それが済んだら概ね1日の業務は終了。これが基本の業務。行事があればその企画や準備、普段と変わった出来事があれば、その対応方法などの相談。月末や年度末は書類の作成等も加わり、就業時間では収まらず残業することも。

みぞくちも他の事業所と同じだと思ふ。だいた